

太宰府市舗装個別施設計画

令和 6 年 3 月

太宰府市役所 都市整備部 建設課

1. 舗装の現状

1.1 管理道路の現状

令和 5 年度現在、太宰府市が管理する認定道路の実延長は、315.388km であり、舗装率は 92.4%である。

表-1.1 管理道路の現状

道路区分	管理延長 (m)	舗装延長		未舗装 (m)	舗装率 (%)
		アスファルト舗装 (m)	セメント系舗装 (m)		
1級道路	22,677	22,556	92	28	99.9
2級道路	25,625	25,238	294	93	99.6
その他道路	267,086	240,443	2,852	23,791	91.1
合計	315,388	288,237	3,238	23,912	92.4

「太宰府市道路台帳 令和 5 年度」より

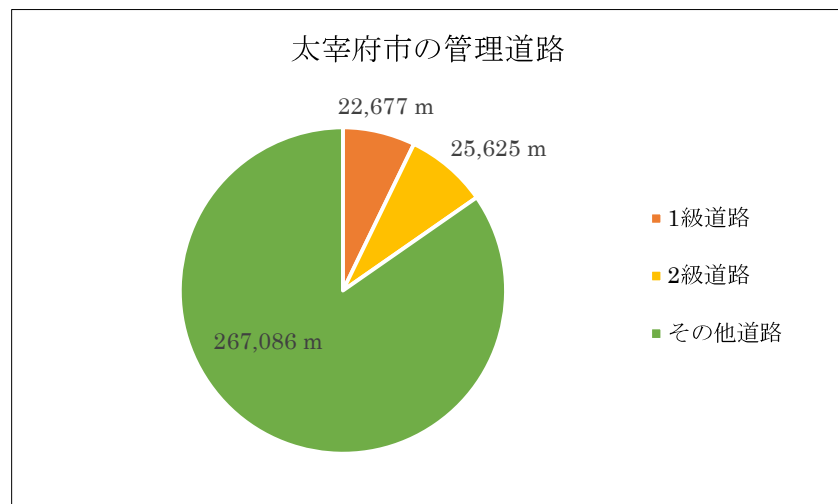


図-1.1 管理延長

1.2 舗装の現状

当市が管理している前頁の管理道路の路面状況として、令和 5 年度に実施した延長約 10km の路面性状調査結果を以下に示す。

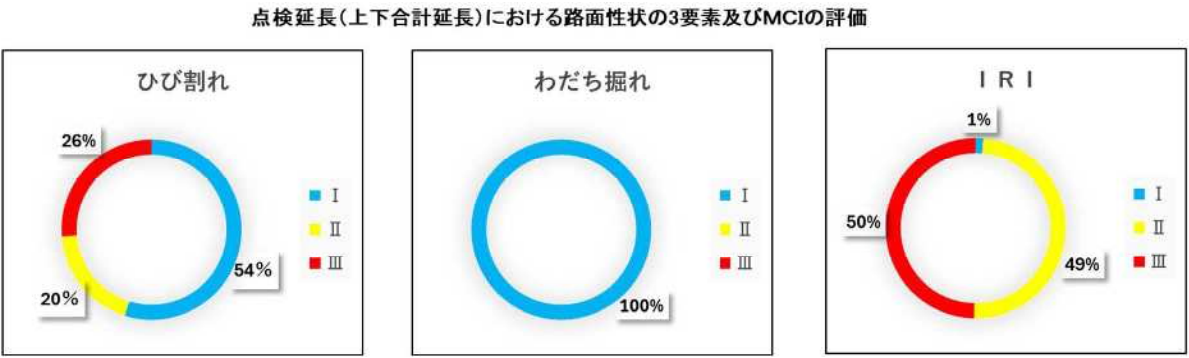


図-1.2 路面性状分布図

表-1.2 舗装状態の判定区分

区 分		ひび割れ率	わだち掘れ量	I R I	状態
I	健全	20%未満程度	20mm未満程度	3mm/m未満程度	損傷レベル小：管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装表面が健全な状態である。
II	表層機能保持段階	20%以上程度	20mm以上程度	3mm/m以上程度	損傷レベル中：管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。
III	修繕段階	40%以上程度	40mm以上程度	8mm/m以上程度	損傷レベル大：管理基準に照らし、それを超過している又は早期の超過が予見される状態である。

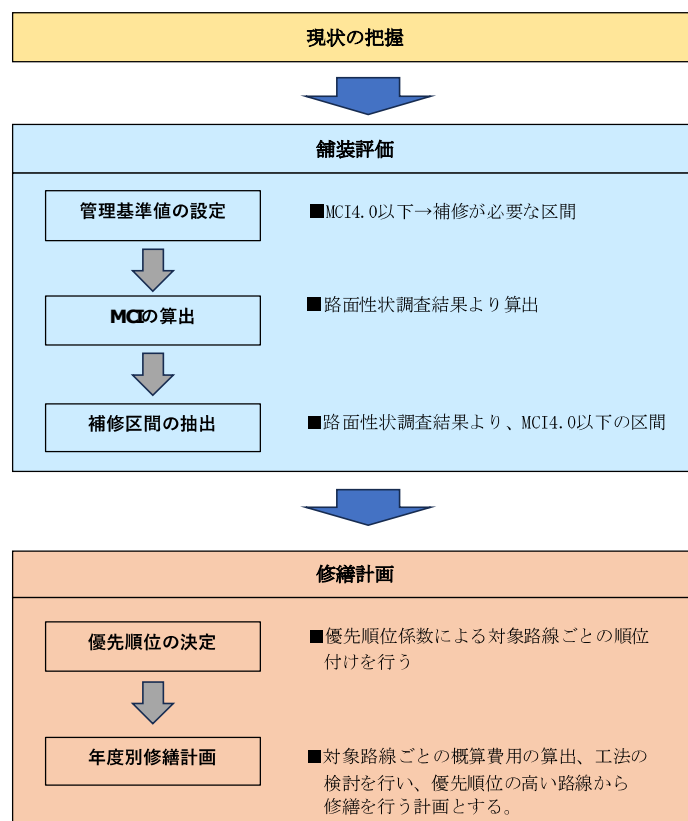
2. 舗装維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画は、令和5年度に実施した、路面性状調査、FWD たわみ量調査、既設舗装厚確認調査を踏まえて適切な修繕計画を策定し、舗装維持修繕費のライフサイクルコストの削減を目指す。

2.2 修繕計画策定フロー

修繕計画の策定のフローを以下に示す。



2.3 道路の分類

本計画の対象路線の道路分類は、「舗装点検要領(H28.10) 国土交通省道路局」を参考に設定した。

表-2.1 道路の分類のイメージ

特性		分類	主な道路※ ¹ (イメージ)
・高規格幹線道路 等 (高速走行など求められるサービス水準が高い道路)		A	高速道路
	・損傷の進行が早い道路 等 (例えば、大型車交通量が多い道路)	B	直轄国道
・損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路)		C	補助国道・県道
	・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響が無ければ長寿命)	D	市町村道

「舗装点検要領(H28.10) 国土交通省道路局」 P6

当市における道路分類を以下に示す。

表-2.2 太宰府市における道路分類

分類	各分類の内容
分類C	1級市道
	2級市道
分類D	その他市道

2.4 管理水準の基準値

上記の 3 要素の値を総合的に評価し、10 点満点で評価した指数を MCI という。
下表に示す、MCI の判断基準より、「表-2.4 MCI 算出式」によって算出した MCI 数値が
4.0 以下の場合は舗装補修が必要となる。
舗装の管理基準を以下に示す。

表-2.3 MCI の判断基準

MCI	修繕の判断基準
5.0以上	望ましい管理水準
4.0以下	補修が必要
3.0以下	早急に補修が必要

「土木工事設計要領 第三編 道路編(令和 5 年 4 月) 国土交通省九州地方整備局」P4-12

2.5 MCI の算出

MCI の算出は、令和 5 年度に行った路面性状調査結果から、以下の 3 種類の計算式(MCI_0 =
ひびわれ+わだち, MCI_1 =ひびわれのみ, MCI_2 =わだちのみ) より算出する。

$\diamond MCI_0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7} \dots\dots\dots$ 式-2.1

$\diamond MCI_1 = 10 - 2.23C^{0.3} \dots\dots\dots$ 式-2.2

$\diamond MCI_2 = 10 - 0.54D^{0.7} \dots\dots\dots$ 式-2.3

「舗装の維持修繕ガイドブック 2013(H25. 11) (公社)日本道路協会」P16

2.6 診断結果

令和 5 年度に実施した路面性状調査の診断結果約 20km(路線上下合計)を以下に示す。

表-2.4 路面評価結果

分類	上下	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ
C	下り	2.07km	0.63km	0.80km
	上り	2.14km	0.53km	0.83km
D	下り	2.73km	1.99km	1.73km
	上り	2.85km	1.82km	1.35km

3. 計画期間

当該個別施設計画の期間は10ヶ年とする。

4. 対策の優先順位

対策の実施においては、優先順位係数、路面の損傷状況及び「図-4.1 優先順位の判断基準」を基に優先順位を決定する。

表-4.1 優先順位係数一覧

優先順位係数			
分類Cの道路		分類Dの道路	
0.5		0.4	
交通区分 N4	交通区分 N3	交通区分 N2	交通区分 N1
0.3	0.2	0.1	0
主要幹線道路である		主要幹線道路でない	
0.1		0	
スクールゾーンである		スクールゾーンでない	
0.1		0	
パッチング 4箇所以上	パッチング 1～3箇所	パッチング 0箇所	
0.2	0.1	0	
地元要望あり		地元要望なし	
0.3		0	
計			/1.5

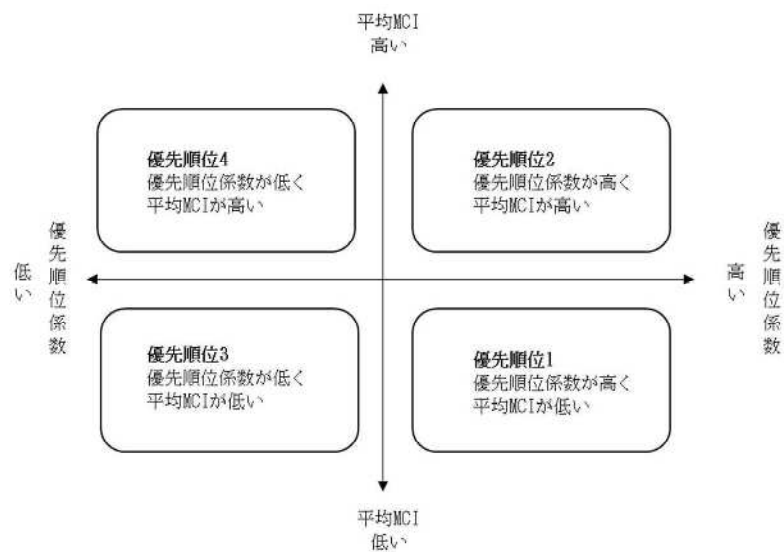


図-4.1 優先順位の判断基準

5. 年度別修繕計画

10ヶ年の修繕計画を以下に示す。

表-5.1 修繕計画一覧

No.	路 線 名	延長 (m)	修繕工法	施工予定
1	長浦台6号線	1,180.0	AS打換え	2025～2034
2	高速側道5号線	450.0	AS打換え	2025～2034
3	浦ノ城・醍醐線	1,240.0	AS打換え	2025～2034
4	観世団地本通線	400.0	AS打換え	2025～2034
5	水城ヶ丘9号線	230.0	AS打換え	2025～2034
6	西湯の谷第1号支線	590.0	AS打換え	2025～2034
7	高雄台35号線	150.0	AS打換え	2025～2034
8	原口・宮本線	760.0	AS打換え	2025～2034
9	西湯の谷本線	410.0	AS打換え	2025～2034
10	三条台団地3号線	70.0	AS打換え	2025～2034
11	江牟田14号線	330.0	AS打換え	2025～2034
12	都府楼団地1号線	530.0	AS打換え	2025～2034
13	都府楼団地3号線	130.0	AS打換え	2025～2034
14	高雄台30号線	120.0	AS打換え	2025～2034
15	高雄台25号線	110.0	AS打換え	2025～2034
16	青山83号線	360.0	AS打換え	2025～2034
17	水城ヶ丘30号線	130.0	AS打換え	2025～2034
18	青山82号線	480.0	AS打換え	2025～2034
19	高雄台31号線	160.0	AS打換え	2025～2034
20	高雄台26号線	130.0	AS打換え	2025～2034
21	高速側道6号線	430.0	AS打換え	2025～2034
22	国分台団地本通線	280.0	AS打換え	2025～2034
23	篠振団地3号線	210.0	AS打換え	2025～2034
24	高雄団地1号線	250.0	AS打換え	2025～2034
25	篠振・土手内線	150.0	AS打換え	2025～2034
26	観世団地2号線	290.0	AS打換え	2025～2034
27	篠振1号線	90.0	AS打換え	2025～2034
28	梅香苑団地29号線	290.0	AS打換え	2025～2034
		9,950.0		

※各年度の予算に応じて実施を行う予定。